

Voice of Student

研究機関で
政策評価する
仕事に就きたい!



工学府都市
環境システム工学専
(博士課程2年)
伊川 萌黄さん

Q 研究室の魅力は?

A 研究室のメンバーが約30人と、人数が多いこと。いろんな人とコミュニケーションがとれて、研究の意見交換をすることができます。留学生の数が多いことも魅力的です。中国、アメリカ、アフリカなどさまざまな国の人がいるので、国際的な環境で研究ができることがメリットになっていると思います。

Q 高校生へのメッセージをお願いします。

A ネットを駆使して学校の情報をリサーチすることも大事ですが、そこにいる人に会いに行って、生の声を聞いてほしいと思います。大学に入って研究室を選ぶ際も、先輩や先生に会いに行き、たくさん質問することが将来に役立つはずです!

研究をしながら
教育もできる
大学教授になりたい!



工学府都市
環境システム工学専
(博士課程1年)
熊谷 惇也さん



日本だけでなく、国連などの国際機関に関わる研究を進める馬奈木先生。学生であっても、先生が担う最先端の研究やプロジェクトに携わることができるのも魅力だ



Laboratory data

研究室の先輩たちの主な進路先

国交省、トヨタ自動車、日産自動車、みずほ総合証券、毎日新聞、JTB、富士通研究所

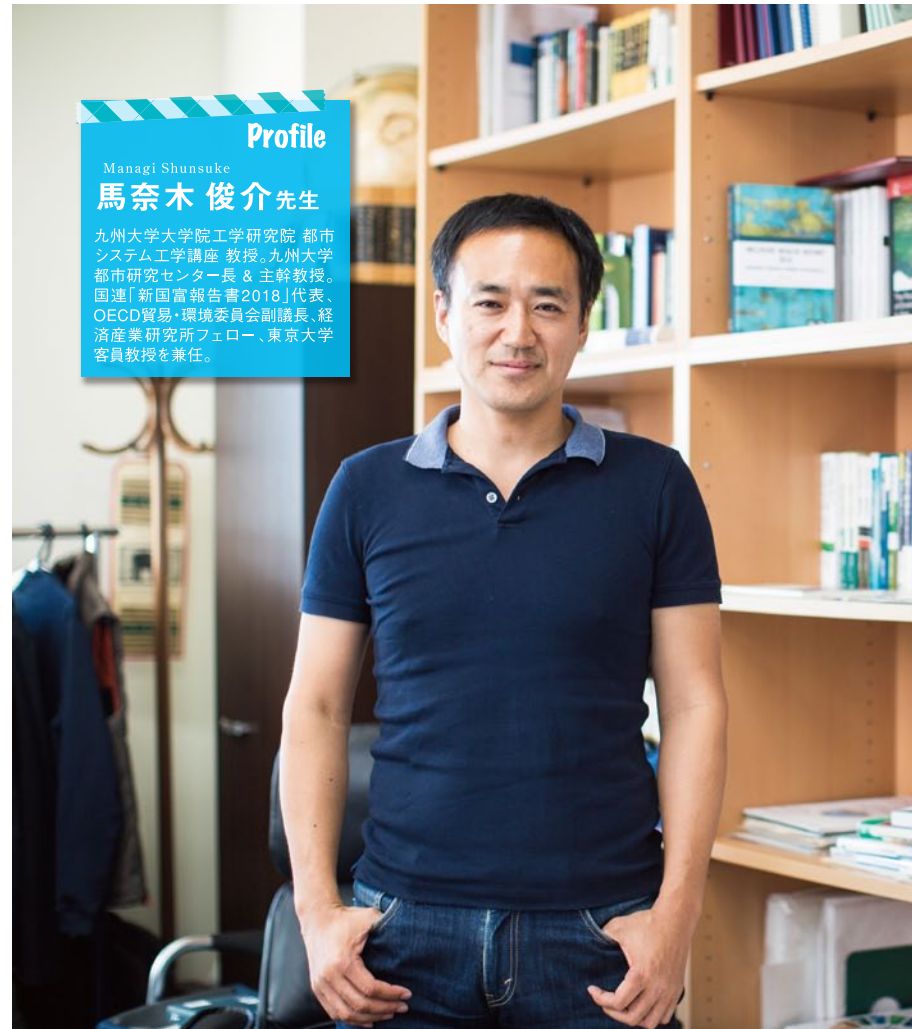
九州大学 伊都キャンパス
九州大学大学院工学研究院 都市システム工学講座

福岡市西区元岡744 West2号館1036室
<http://www.managi-lab.com/>

最近の学生に多く見られるのは、物知りなのに内容が薄いということ。今はインターネットですぐに何でも調べられる時代なので、上辺だけの知識はたくさん得ることができますが、核心をつかれると答えられない。だから、学生のみならずには何かこっぴどく人に負けない、という尖った専門性を身につけてほしいと思います。そして本をたくさん読むこと。私も大学に入ってから、月に数十冊ほどのペースでたくさん本を読み漁りました。できれば高校生のうちから、幅広くいろいろな本を読むといいですね。実は私が経済学に興味を持ったきっかけも本だったのです。それは大学3年生の時に読んだ中国のダムに関する本で、ダム作りには技術だけでなく人権、環境、インフラなどさまざまな問題が絡んでいることを知った私は、技術だけでなく経済政策も学びたいと思いました。ぜひたくさん本を読んで自分の進みたい道を見つけ、深めていってほしいと思います。

— 学生たちに求めることは? —

博士号を取得しました。次に渡り、経済学を学びました。なぜ工学から経済学へ分野を変えたのかと言うと、社会を動かすには経済的な視点が必要だと思ったから。修士課程では下水道処理の研究をしていたのですが、技術開発をしている人が「この技術は優れている」と自信を持っていたり、都市の規模や予算、政治的な問題などが絡み、受け入れられないことがあると知りました。技術者には経済のことが分からず、経済が分かったら技術のことが分からなくなる。政策だけを述べる。だから技術も経済政策も分かれば完璧ではないかと思ったのです。アメリカで経済学を専攻し、博士号を取得しました。



Profile Managi Shunsuke 馬奈木 俊介 先生

九州大学大学院工学研究院 都市システム工学講座 教授。九州大学 都市研究センター長 & 主幹教授。国連「新国富報告書2018」代表、OECD貿易・環境委員会副議長、経済産業研究所フェロー、東京大学 客員教授を兼任。

「真の豊かさ」をカタチにして
暮らしやすい社会の実現を目指す

Kyushu University

経済学と工学という2つの領域から、都市政策にアプローチする馬奈木先生の研究、その魅力について聞いてみよう!

住みやすい街、幸せな暮らしとは何か。これまでに曖昧にされていた「豊かさ」を具体的に数値化し、経済と技術の観点から「持続可能な社会」の実現を目指しているのが、馬奈木俊介研究室。先生が研究する都市システム工学や、新たな経済指標「新国富」について伺った。

— 馬奈木先生の研究内容について教えてください。 —

大きく言うと、都市のレベルを上げる研究をしています。最近では日本のあちこちで自然災害が多く発生していますよね。そこには市街地の土地が高いという理由から、山沿いや沿岸部へと家を建てる人が増えはじめたという背景があり、その結果、津波や土砂崩れに遭遇して命を落とす人も少なくありません。地盤の強さなどの土木工学の知識があれば、事前に災害を防ぐことも可能なのではないかと。つまり「人々がここに暮らさざるを得ない」という経済的な背景と、「地盤が弱いからこの土地には住まない方がいい」という技術的な知識の両方が分かっているならば、安全で快適な暮らしを確保できる可能性があるのです。そのように、この研究室では自然災害、人口減少、高齢化、エネルギーの枯渇など、現代の都市が抱えるさまざまな

問題に対して、経済と工学（技術）という2つの視点から市場、政府、市民の役割を明らかにし、継続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

継続可能な社会を実現するためには具体的な目標が必要です。国の豊かさを表すためにGDP（国内総生産）が使われていますが、これはモノやサービスの量を表すもの。森林伐採が行われて環境が破壊されていても、破壊活動をしたトラクターの動きでGDPは増えてしまいます。つまり健康や自然の価値を含めた「真の豊かさ」を測ることはで

5000件以上の
全国の大学の
研究室を掲載!

大学・研究室選びのポータルサイト

LABOナビ

「LABOナビ」の
サイトはコチラから



大学研究室の情報サイト「LABOナビ」では、日本全国の大学研究室や学会の情報を掲載しております。掲載件数5000件以上の情報から学部・地域などで検索し、進学・就職の役に立つ情報を掲載しております。

アプライド
Computer & Internet Audio & Visual

<http://www.labnavi.info/>